

ウィズ じょうえつ からの おたより 「男らしさ」「女らしさ」ってなんだろう？

ぼくは犬のボス。

散歩をしていたら、近所のおばちゃんに「“ボス”なんて、男らしい名前をつけてもらったね」って言われたけど、ぼくはメスなんだよ。“男らしい”ってなんだろう？
「ボス=BOSS」って、実力者とか、上司、重役、親分、長なんて意味らしいけど・・・



ボス



マモル

ぼくの飼い主で長男のマモルは中学生。趣味はお菓子作りだけど、お友達に「女子みたい」って言われたんだって。男子がお菓子を作ったらおかしいの？
お菓子を作る男性の職人さんはたくさんいるのにね。

職場、地域、家庭、学校、様々な場所、場面で、無意識のうちに「男だから」、「女だから」と決めつけていることはありませんか？固定観念から、「家事・育児は女性がするもの」と言うような性別による役割分担を始め、「男性だから一家の大黒柱であるべき」、「男性は女性より収入が多くなければならない」というプレッシャーを与えられ、生きづらさを感じている人も多くいます。

このような「無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)」は、誰もが思い当たるのではないのでしょうか。

男は弱音をはいちゃいけない

女性だから自動車の長距離の運転は苦手

女性はスイーツが好き

世帯主は男性

町内会長は男性がするもの

デートは男性がリードし、お金を払う

窓口業務は女性の仕事

炊き出し・救護は女性の役割

これらは男女の区別が本当に必要なことでしょうか？

私たちはなぜこのように思い込み、決めつけてしまっているのでしょうか？

裏面に続きます→

お問合せ先

ウィズ じょうえつ (上越市男女共同参画推進センター)

住所：〒943-0821 上越市土橋1914番地3 上越市市民プラザ2階

TEL 025-527-3624 FAX 025-522-8240

E-mail : d-sankaku@city.joetsu.lg.jp

開設時間：月曜日～金曜日の午前8時30分～午後5時15分

お休み：土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～翌年1月3日まで)

市民プラザ休館日(毎月第3水曜日、ただしこの日が祝日の場合はその翌日)

この紙面について、お気軽にご感想をお寄せください。



子どものころ、「もっと女の子らしい服を着ればいいのに」、「男なら泣くな」なんて言われたことはありませんか？ 女の子らしい服ってどんな服？ 男は泣いちゃいけないの？・・・大人たちの昔からの慣習、イメージが、子どもの成長過程で影響を与えていることも「思い込んで」しまう理由の一つにあげられます。

このことが、「家事・育児は女性がするもの」というようなイメージを固定化し、性別で男女の役割を決めつけることにも繋がり、育児に専念したい男性や社会で活躍する女性の阻害要因にもなります。

教育の現場や企業では、男女の役割に関する固定的観念（ジェンダーバイアス）を解消するよう、変化が見られます。



今はいろんな色のランドセルがあって、お姉ちゃんは水色のランドセルで小学校に通ったけど、ママが子どもの頃は男子=黒、女子=赤が暗黙の了解だったわ。



パパは友達と「くん」付けで呼び合っていたけど、今は男子も女子も「さん」と呼ぶようにしているんだね。名簿も男子が先、女子が後だったのが、男女混合になっているね。



お姉ちゃん

就職活動の時、企業によっては、履歴書の様式に性別欄がなかったの。性別によって採用の優劣をつけないことや、トランスジェンダー*の配慮として、履歴書から性別欄を無くす取り組みもあるのね。

* 性自認が生物学的性別と一致せず、割り当てられた性別の枠を越えようとする人

日本は、国ごとの男女格差の度合いを示す「ジェンダーギャップ指数ランキング」（世界経済フォーラム）で、2019年には153か国中121位でした。このランキングは、政治、経済、教育、健康で男女格差を指数化しているもので、日本はとりわけ政治と経済の順位が低く、深刻な男女格差（ジェンダーギャップ）が存在しています。

また、「無意識の偏見」で生じる問題は、男女格差だけではありません。自分の「当たり前」を他人に押し付けることは、差別や偏見、ハラスメントなどの人権問題全般に繋がります。

人ができるだけ「偏見」を持たずに育つには、「女らしさ」「男らしさ」よりも「自分らしさ」を大切に、自分自身も相手の個性も認めながら、成長過程で多様な人と人間関係を築いていくことが大切です。

◆ 図書コーナーをご利用ください ◆ こんな図書があります

	書 籍 名	著 者	出 版 社
絵 本	ちいさなフェミニスト宣言	デルフィーヌ・ボーヴォワ・文	現代書館
単行本	これからの男の子たちへ	太田啓子	大月書店

ベアテさんコーナー

9月12日に開催したセンター講座 ドキュメンタリー映画上映会&トーク「私は男女平等を憲法に書いた」の貸出用DVD や、関連図書をセンターに設置しています。



「女性だから」、「男性だから」、「私が頑張らなきゃいけないから」、「私が悪いから」…そんな「思い込み」、「決めつけ」で生きづらさを感じていませんか？

女性相談をご利用ください ※男性や匿名のご相談もお受けします

ウィズじょうえつ内に相談窓口があります。秘密は固く守ります。ひとりで悩まず、ご相談ください。

- ◆相談場所 ウィズじょうえつ（上越市市民プラザ2階）内 〒943-0821 上越市土橋1914-3
※公の施設での出張相談も行っています。出張相談は相談希望日の3日前までにご予約ください。
- ◆開設日時 月曜日～土曜日／午前9時～午後5時（火曜日は午後7時まで電話相談のみ延長）
※日曜日、祝日、年末年始（12月29日～翌年1月3日まで）
市民プラザ休館日（毎月第3水曜日、この日が祝日の場合はその翌日）はお休みです。

専用ダイヤル・連絡用メール TEL / 025-527-3614 E-mail / w-soudan@city.joetsu.lg.jp